

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)説明・同意書

ID _____ 患者氏名 _____

経口内視鏡を希望

経鼻内視鏡を希望

検査の目的

- 症状の原因が食道・胃・十二指腸にあるかどうかの検索
- 手術などの術前精査、術後の経過観察
- 検診後の精密検査
- 胃炎や胃・十二指腸潰瘍などの経過観察
- 検診や定期検査
- その他 (_____)

検査の際、病変が見つかった場合、生検(組織の一部を採取し、顕微鏡で検査する)を行なうことがあります。

- ・ 上部消化管内視鏡検査に共通する合併症、危険性

軽いもの： 軽微な出血、のどの痛み、腹痛、声がかれる等 (通常日数内に消失します)
重大なもの： 不整脈、アレルギーによるショック、出血や穿孔(消化管に穴があく)等

これら以外にも予期しない偶発症が起こり得ます。これらの偶発症が起こらないように最大限の注意を払い検査を施行しますが、確率的には低いながらも完全に避けることは不可能とされています。合併症が起こった場合、緊急で再検査、輸血や手術などが必要となることがあります。合併症の頻度はおおよそ0.0069% 死亡率0.0001% (消化器内視鏡学会による第6回 全国調査(2008-2012年))と報告されています。

検査終了後に、吐血・黒色便・持続する腹痛などがありましたら当クリニックにご連絡ください。

- ・ 経鼻内視鏡に伴う合併症、危険性

上記の上部消化管内視鏡検査の合併症に加えて鼻痛、鼻出血のリスクがあります。

鼻腔が狭いなどの理由でどうしても鼻から挿入できない場合、抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)を内服中など出血の危険性が高い場合など担当医が経鼻検査困難と判断した場合には、経口検査への変更をおすすめしたり、検査そのものを中止させていただく場合があります。

EDate

説明医師 新星おなかのクリニック 院長 中島 淳太
(代 _____)

私は、上記の内容の説明を受け、診療上必要であることを理解致しましたので、上部消化管内視鏡検査の実施を同意しました。また、上記実施中に緊急の処置を行なう必要が生じた場合には適宜、実施されることについても、あらかじめ同意しました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者氏名 _____ (自署)

代理人(続柄: _____) 氏名 _____ (自署)